

安倍総理の協力プランには「中小企業交流・協力の抜本的拡大」という項目があった。この実現に向けて経済産業省とロシア連邦経済発展省が協議を行い9月3日、日ロ両国の中堅・中小企業分野における協力のためのプラットフォーム創設に関する覚書に署名した。プラットフォームは両国の関係機関を構成員とし、必要に応じてベンチャー・ファイナンス、イノベーション・ビジネス、食関連などのワーキンググループを設ける。同時に投資および輸出を促進するためのセミナーや商談会などのイベントを開催、ビジネス・ミッションの派遣、金融・情報・ノウハウの支援を実施するとともに

日ロの中堅・中小企業を育成する基盤創設に合意

5月6日に行われた安倍総理とロシアのプーチン大統領の日ロ首脳会談以降、日ロの距離が急速に接近している。すでに経済分野では安倍総理が示した経済交流を目的とした8項目の協力プランが動き出している。日本企業は未知の巨大市場とどう向き合えばいいのか。ロシアNIS経済研究所副所長の高橋浩さんに日ロビジネスの現状と課題を聞いた。

対日感情のよさは有利に働くが、未発達なビジネス環境に注意が必要

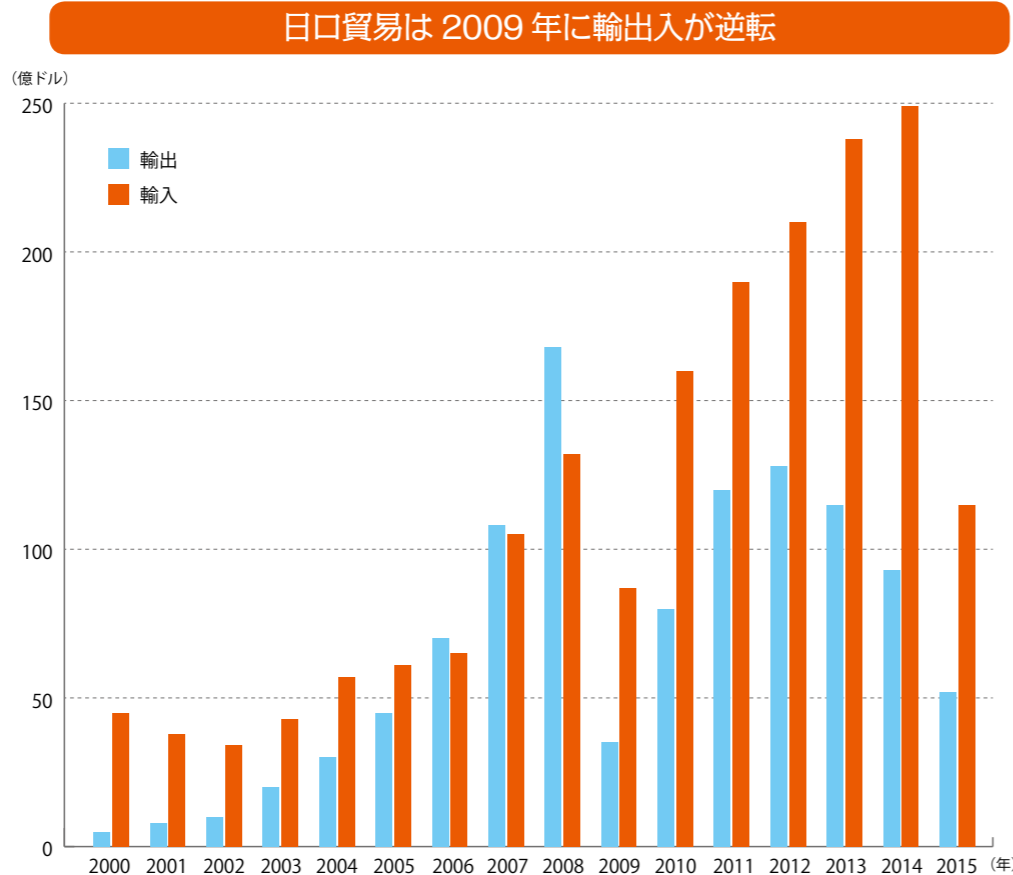


ロシアNIS貿易会 (ROTOBO)
ロシアNIS経済研究所副所長
高橋 浩

たかはし・ひろし
昭和32年山形県米沢市生まれ。55年から58年まで社団法人日本民間放送連盟、60年から社団法人ソ連東欧貿易会調査部（現在のロシアNIS貿易会ロシアNIS経済研究所）に所属。その後平成8年から12年まで財団法人貿易保険機構・カントリーリスク研究所総括主任研究員を務め、20年に社団法人ロシアNIS貿易会ロシアNIS経済研究所副所長に就任した

【ロシア基礎データ】（外務省）
面積：約1710万km²
人口：1億4651万人（2016年1月）
首都：モスクワ
公用語：ロシア語
主要産業：鉱業、鉄鋼業、機械工業、化学工業、繊維工業

資料提供 ROTOBO



緊急特集
今度の本物は本物!?
日ロビジネス最前線

ロシア・プーチン大統領の来日を機に日本とロシアは、近く、近い国々になるうとしている。そこで、ロシア事情に詳しい専門家に話しを聞くとともに、いち早くロシアに進出している各地企業の動向を探った。